

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社サスネット

25-22-12-104-019

D. データ活用	104 ピボットテーブルを活用したデータ分析
表計算ソフト活用	

コースのねらい	表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、効率よく大量のデータを集計し、様々な視点からデータの分析を行うための手法を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程				
				月 日	時刻			
講義内容	1 多角的データ分析	(1) ピボットテーブルの基礎 データベースの基礎とピボットテーブルの基礎について ピボットテーブルに元にするデータベース表の作成方法やコツを学びます。	0.5	令和7年 7月24日(木)	9:30~16:30 屋休憩 12:00~13:00			
		(2) ピボットテーブルの作成 ピボットテーブルの操作、実際にピボットテーブルの作成手順や集計結果の見方について学びます。	0.5					
		(3) 集計の変更やグループ化 数値の表示変更や、集計方法を変更したり、データをグループ化したりすることで単純な集計だけでなく、多角的に分析する方法を学びます。 また関数を利用してピボットテーブルの集計結果を他のセルに表示させる方法を学びます。	1.5					
	2 ピボットグラフによるデータの見える化	(1) ピボットグラフの作成 ピボットテーブルからピボットグラフを作成します。様々な種類のグラフを使ったデータの可視化を行います。	0.5					
	3 複数テーブルの分析	(1) 集計対象を絞り込む スライサーやタイムラインの機能を利用し、必要なデータを絞り込み分析する方法を学びます。スライサーに複数のピボットテーブルを連系させ分析する方法を学びます。	1.5					
		(2) リレーションシップの設定 「商品」「売上」「顧客」「取引先」など複数の表を元に、データベースの表を元にピボットテーブルを作成する方法を学びます。リレーションシップの基本とピボットテーブルの活用方法を学びます。	1.5					
		(3) 演習 本日の講座内容に沿った問題を解き、ピボットテーブルを業務で活用できるよう演習を行います。	1.0					
	合計時間					6.0時間		

カリキュラム作成のポイント	<p>大量のデータを効率的にかつ自社業務で活用できるよう、ピボットテーブルの基礎となるデータベース表の作成ポイントから、複数のデータベース表を使った分析まで学べるカリキュラムとしました。</p> <p>ピボットテーブルを用いてどのような分析ができるのか、作成するだけでなく様々な表示方法、集計方法も学び業務に活かせるカリキュラムとしました。</p> <p>また演習の時間には、1日の復習が出来るよう演習問題を解き、理解を深めて頂けるカリキュラムとしました。</p>
---------------	--